

令和7年 第1回 定例会

(令和7年3月7日)

総務民生委員会委員長報告

(視察報告)

## 総務民生委員会先進地視察報告

総務民生委員会先進地視察報告を行います。

総務民生委員会は、去る 1 月 24 日に松江市立中央図書館、2 月 12 日に浜田市立中央図書館を行政視察いたしました。

はじめに、松江市立中央図書館について報告します。

松江市立中央図書館は、総合文化センタープラバホール内に令和 5 年 10 月に『ライフラリー』というコンセプトを掲げ、リニューアルオープンしました。中央図書館をハブとし、市内の島根図書館、東出雲図書館、移動図書館車での図書館サービスで、市内全域に図書館ネットワークを構築しています。館内の 1 階には、正面入り口の近くに、ブラウジングコーナーがあり、隣接するカフェで買った飲み物を持ち込んで楽しみながらカジュアルに読書ができる空間があります。その傍に、絵本の部屋や児童書コーナーがあります。館内は奥に行けば行くほど読書に集中できる雰囲気となるよう工夫されていました。2 階には、だれでも夜 9 時 30 分まで利用できる個人学習室と 20 歳未満の方が利用できるグループ学習室が常設されています。これは市民からの要望が多く、設置されたものだそうです。また、2 階ロビーには飲食スペースやテラスがあり、勉強や会議の休憩などに利用されて

います。

施設管理は、指定管理者ではなく、財団法人に業務委託されていました。メリットは市の意向を直接、現場責任者に伝え、タイムリーに施策を実行に移すことが可能であるという点です。新システム導入により、一例として、イオン松江に設置されている予約本受取ロッカーを利用し、図書館の閉館時間でも予約本の受取が可能となりました。また館内ではセルフ貸出機で、利用者の利便性の向上とスタッフの業務効率化、職員との非対面が可能となりました。

運営の特色として1つめに、雑誌スポンサー制度を導入し、募集しています。雑誌1冊当たり年額1万円で、新刊雑誌のカバー表紙に雑誌スポンサー名や広告を表示することができる制度で、スポンサー料は図書館の運営費に充てられます。

特色の2つめに、ボランティア活動の推進です。ボランティアの種類としては、書架整理ボランティアと子どもの読書応援ボランティアの2種類です。18歳以上を対象に、書架整理ボランティアを年1回定員10名で募集します。子どもの読書応援ボランティアの活動は、お話出前事業、図書館での定例おはなし会などの子どもの読書普及に関するイベントへの協力です。ストーリーテリングの担当者は1年間の養成期間後、研修を受けて

育成されています。現在は、小学校に授業の一環として、お話出前事業として活動されています。

つぎに、浜田市立中央図書館について報告します。

浜田市は、市町村合併後、現在、中央図書館を中心館とし市内に5館の市立図書館があります。中央図書館と三隅図書館は令和5年に開館10周年を迎えました。

中央図書館の開館時間は、朝9時から夜7時です。休館日は第2・4月曜日で、令和5年度は年間で327日開館しています。新図書館建設にあたっては、基本計画1次、2次それぞれに「市民の意見を聞く会」を開催。小中高校生を対象に「子どもアンケート調査」を実施され、市民の意見を反映させる取り組みをされました。また、建物については、地域産材の活用及び周辺建物との調和につとめ、全ての人が使いやすい施設を心掛けられたそうです。

建物は2階建てで、1階が図書となっており、2階は多目的ホールとなっています。入口を入って、すぐにコミュニケーションスペースがあり、飲食可能スペースです。児童向けには、幼児図書コーナー、おはなしのへや、児童図書コーナーが設けられています。また一角に学習コーナーがあり、32の席は、予約制となっており、1日3時間までの使用制限があります。管理運

営については、図書貸出システムとして、4台のセルフ貸出機が設置されています。メリットは、受付事務の効率化が図られること。デメリットとして、本の独占化が生じると説明がありました。

また、こちらの図書館でも、雑誌スポンサー制度を取り入れられていました。1誌当たり年間1万円で、広告を雑誌カバーに掲載とのこと。現在、164誌中スポンサーは18団体とのことでした。浜田市立中央図書館では、ボランティア活動については、外部団体との支援活動とされていました。これらのボランティア団体への支援として、館内の1室をボランティア活動室として提供されており、さらに多目的ホールの使用料を免除とするなど活動支援されています。このほか、地域おこし協力隊制度を活用し、2名の方に委嘱し、所蔵資料整理事業に取り組んでおられました。

今回、2施設の図書館を視察いたしました。どちらの図書館もコンセプトがしっかりしており、「やさしさ」「くつろぎ」を感じる施設でした。雑誌スポンサー制度をどちらも導入されており、地域に根差した施設運営をされておられました。地域のボランティアとの協力で読書環境の整備、普及に努められていて、特に、ストーリーテリング活動には興味を感じるものです。

去年の武雄市図書館と今回の松江市立中央図書館、浜田市立中央図書館と視察を行いました。多くの参考事例を学ぶことができました。

本市も、今後、図書館建設計画が動き出すと思いますが、今回の視察で学んだ事例等を今後の取り組みに提言できればと感じたところです。

今回の行政視察には、多くの行政職員の方、議会の方々の歓迎を受け、内容も充実した 2 日でした。この間事故なく過ごすことができ、改めて関係者の皆様に感謝申し上げます。

以上で総務民生委員会先進地視察報告を終わります。